

サンノゼからのたより 2017年3月

今年もはや3月です。

こちらサンノゼは、春めいてきました。今日から夏時間が始まりました。時間が一時間はやまるので、今朝は普段なら5時の時間に起きて日曜のミサの準備をしました。

3月は聖ヨゼフにささげられた月です。先月、日本に一時帰国中、鈴蘭台教会で、聖ヨゼフのミサをあげましたがその時の説教の一部です。

「正しい人とは誰か。信者の中にも見倣うべき正しい人はいる。しかし同胞を正しく裁くのは難しい。なぜなら、聖ヨゼフは正しい人であったからこそ最初マリアを疑った。同時に正しい人であったからこそ天使のみ声を信じ、翌日にはそれを行ないに移した。そのように聖ヨゼフは、私たちにも起こりがちな理不尽なことを解ってくださる御方。今もなお御取次ぎをして祈ってくださる御方。聖ヨゼフへの信心を深めることで、私たちの精神の支柱、命の泉である信仰を守り育て、そうしてキリストの命の交わりに与かることで、啓示を感じとることができるようになり、それゆえ自身をますます信仰にゆだね、神の御導きを知って、行なうことができるようになる。神を信じるからこそヨゼフのように相手を信じることができる。信仰があるからこそ、徳だけでは移ろいやすい人間の弱さは堅固な柱へと変えられる。」

聖ヨゼフの人生もいろいろな試みがありましたが、信仰にささえられていたので、焦らずに信頼に基づいて確実に神のみ旨をはたしてゆけたのだと思います。

この変わりやすい時勢でも、神への信仰は変わることはありません。

どうか聖ヨゼフが、導てくださいますように。

主に感謝

植田勝行

写真は要理教育の子供たちとの写真です。どうか聖ヨゼフが子供たち健やかな成長を見守ってくださいますように。

